

2024.12.11
北九州GX推進コンソーシアム
未来共創部会「木造建築」講演会

地域密着・住まいづくり企業の取組と課題



R2D881ler|3UfLEk

Copyright©DAIEISANGYO Co.,Ltd.



■ スピーカー

大英産業株式会社 代表取締役社長 一ノ瀬 謙二

1980年8月2日生 44歳

趣味：マラソン、トライアスロン、読書

2003年 当社入社

2012年 不動産事業部部長

2013年 常務取締役兼管理本部本部長

2016年 不動産流通事業部事業部長

2019年 マンション事業本部本部長

2022年 代表取締役社長 就任



■ 会社概要



設立 : 1968年11月28日
資本金 : 3億3千万円
売上高 : 370億円 ※2024年9月30現在
従業員数 : 442名 ※2024年9月30現在、パート含む
本社 : 北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号
事業内容 : 新築分譲マンションの企画販売
新築一戸建住宅の企画販売
宅地開発、造成、販売
中古住宅の買取り再販
住宅リフォームの企画、設計、施工
タウンハウスの企画販売
街づくり事業
宿泊事業



分譲実績



新築分譲戸建 供給実績

5,023戸



新築マンション 供給実績

10,697戸



宅地分譲



新築分譲タウンハウス



投資用賃貸マンション



投資用賃貸戸建



街づくり・大規模開発

豊富な土地情報から、幅広い商品ラインナップを供給

2024.4現在



■ 理念と方針

【経営理念】

元気な街、心豊かな暮らし

【経営方針】

地域愛着経営

1. 地域の課題を解決する
2. 地域の魅力を創造する
3. 地域のコミュニティと共存する



■ GX経営における不動産・建設業界の現状



競争のZEH化が激化
高まりつつある顧客の関心



不動産情報プラットフォーム
のZEH仕様の明示化

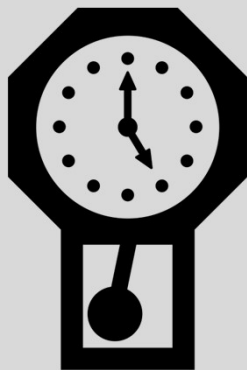


企業のガバナンス・投資家の責任強化の潮流
(CGコード・スチュワードシップコード)



■ GX経営における不動産・建設業界の課題

【課題①】



プロダクトライフサイクルが長く
計測が困難

【課題②】



一般消費者の理解・共感が薄い
(単価が高い)



今後の予定取組

1. 素材視点



取組のキッカケ

2022年12月 「地域材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」 締結

(北九州市・北九州市森林組合・(株)伊万里木材市場・ウイング(株)・大英産業(株))

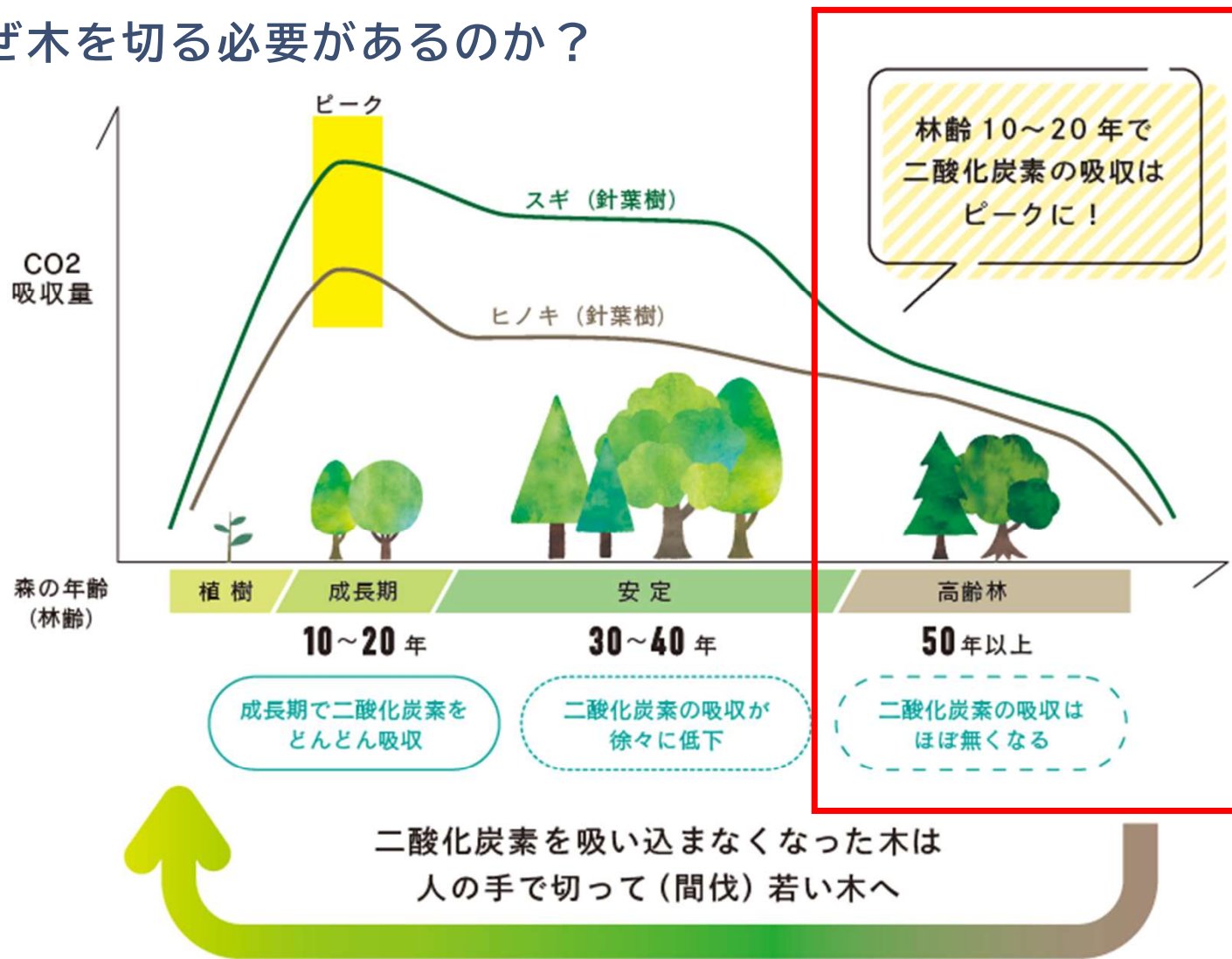
北九州産木材の カーボンニュートラルサイクル

Carbon neutral cycle
Kitakyushu City Wood

- 1 地域産木材の地産地消
- 2 林業・木材産業の活性化
- 3 カーボンニュートラルの実現
- 4 地域産木材のトレーサビリティと炭素貯蔵量の見える化

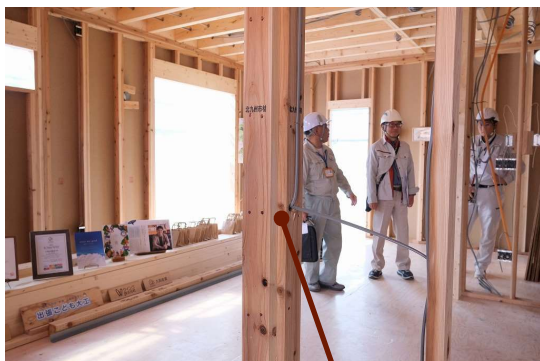


■ 参考:なぜ木を切る必要があるのか？

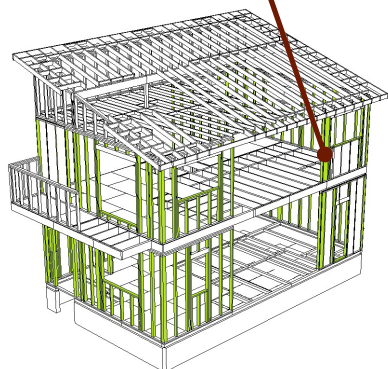


■ 約10カ月かけてサプライチェーンの構築が完了

現在、月10棟分の木材を **大英CÓDATE** で使用



地域材を活用した
“地産地消の家”を市場投入



炭素貯蔵量計算書

カーボン・コントロール
美郷材活用委員会

平塚市緑地開発事業株式会社から購入した木材は、以下のとおりです。
平塚市緑地開発事業株式会社から購入した木材は、以下のとおりです。
緑地開発事業株式会社から購入した木材は、以下のとおりです。

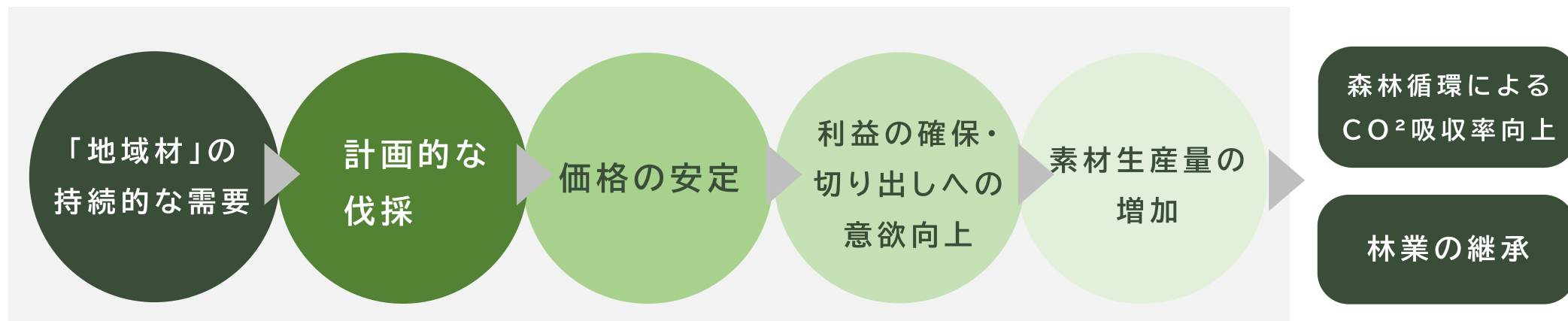
所在地 馬場山西(6号地) 郡 相模
期 期 2023年10月 至 2023年10月
期 期 2023年10月 至 2023年10月
期 期 2023年10月 至 2023年10月

品名	数量	炭素貯蔵量 (kg)	CO2削減量 (kg)	削減率 (%)
内北丸桐材	6,008	3,6461	19,686	15.1938

単価計算書
内北丸桐材 (kg) × 炭素貯蔵量 (kg) = 炭素貯蔵量 (kg) × 単価 (円/kg) = 削減率 (%) × CO2削減量 (kg)



■ 北九州市の森林の「課題解決ストーリー」を社会に発信



課題解決の“ストーリー自体”への認知・理解・共感





KiTAQ WOOD

■ 活用事例：小倉昭和館（受付・演台）

2023年12月



■ 活用事例：イベントブース出展（大英産業 購入者イベント） 2024年1月



■ 活用事例：共同研究課題（NPO法人×ポリテクカレッジ×大英産業）

2024年4月～進行中



■ 活用事例: 対談イベント (世界的インテリアデザイナー×小倉縞縞代表)

2024年10月

DAIEI presents

KITAQ WOOD

吉田 恵美 渡部 英子

インテリアデザインの第一線でグローバルに活躍するYZDA 代表の吉田氏と伝統的な小倉織を北九州から世界へ発信する小倉縞縞代表の渡部氏をお迎えし、デザインやアートが持つチカラを深掘りする対談イベントです。

参加するみなさまと共に「原点」に立ち返り、今ここにある資源、文化、才能に気づく。

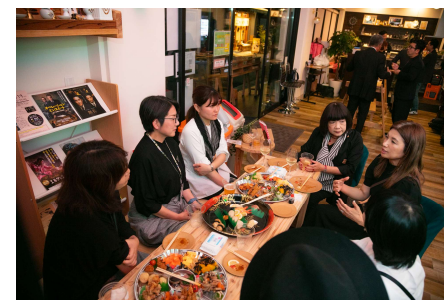
サステナブルな未来へ、次の一歩を踏み出すきっかけとなる時間です。

モデレーター 眞鍋 和博

北九州と世界をつなぐ
DESIGN

2024 10/12(Sat.) 15:00-16:30
会場 小倉昭和館 北九州市小倉北区魚町 4-2-9

同日 12:30より吉田恵美セレクト映画「Breakfast at Tiffany's (ティファニーで朝食を)」上映



■ 活用事例：市中への露出（コクラBEAT 州浜ひろばにテーブル提供）

2024年11月



■ プロジェクト化で共感者を増やす→木材利用機会を増やす

プロジェクト名

地産地消木材循環モデル  KITAQ WOOD Project

コンセプト

3世代で、地球と街の未来を変える(案)

ゼロカーボンへ「アクションチェンジ」のきっかけをつくる

コアメンバー

北九州市、北九州市森林組合、伊万里木材市場、ウイング、大英産業

パートナー
シップ
制度

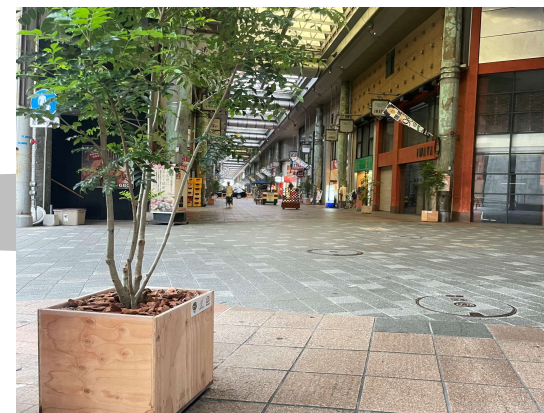
 KITAQ WOOD を活用し、
CO²の吸収率向上と排出削減に貢献した企業・団体

費用調達

 KITAQ WOOD 基金にプールされた資金から調達

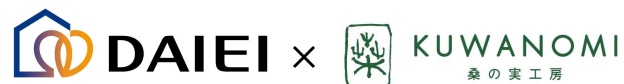


参考：端材活用が実現したパートナーシップ ”HAZAI SDGs Project”



■ 参考：端材活用が実現したパートナーシップ

実現の原動力は「共感」



今後の予定取組

2. 家づくり視点

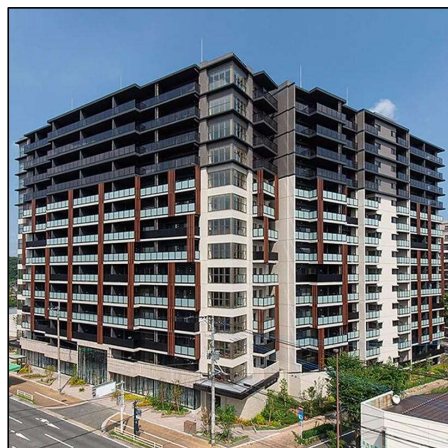


■ 家づくり視点① 街づくり

環境先進と多世代共生



ゼロ・カーボン先進街区
“BOJONO”
(北九州市小倉北区)

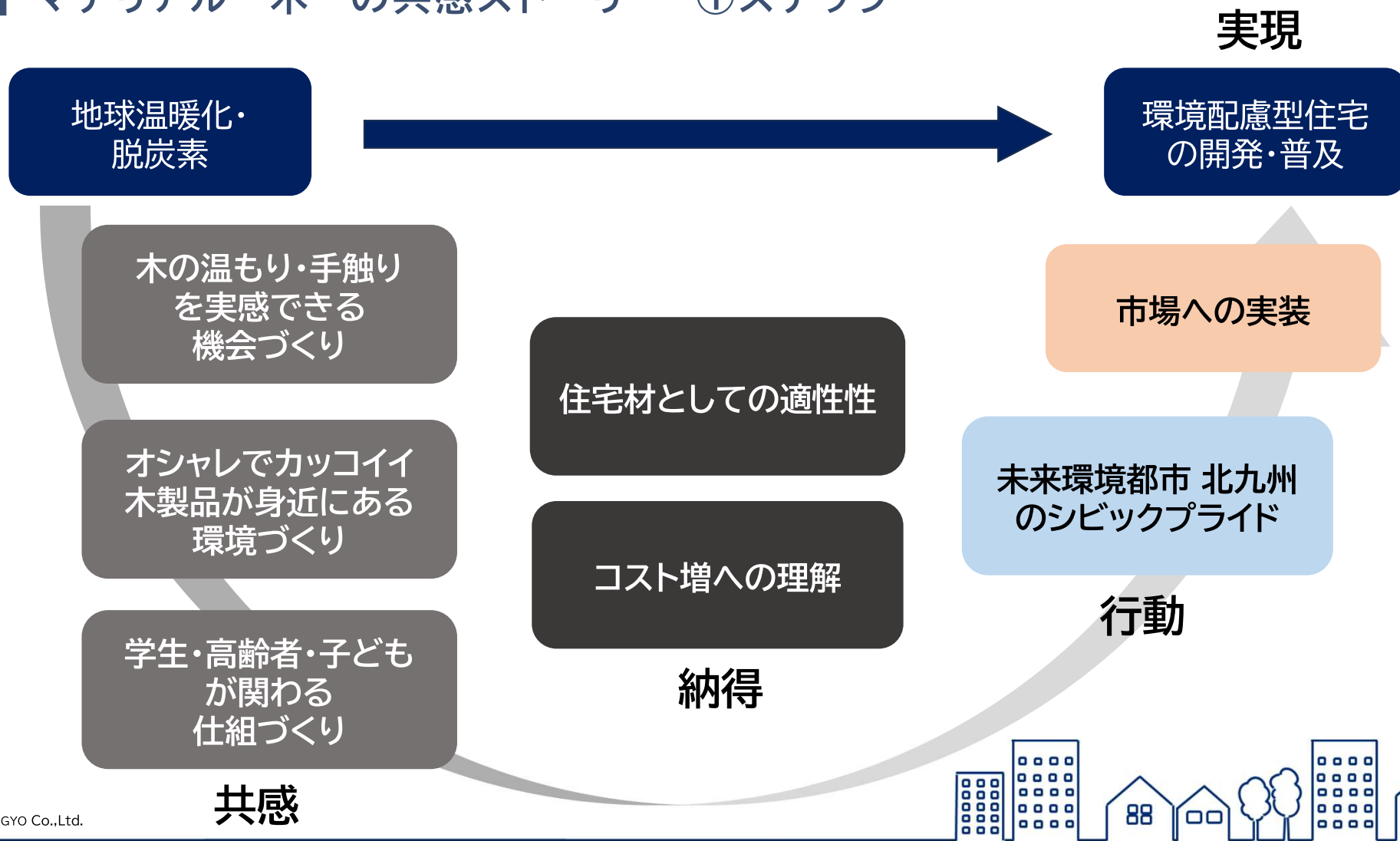


多世代・地域・環境との共生
(北九州市八幡西区)

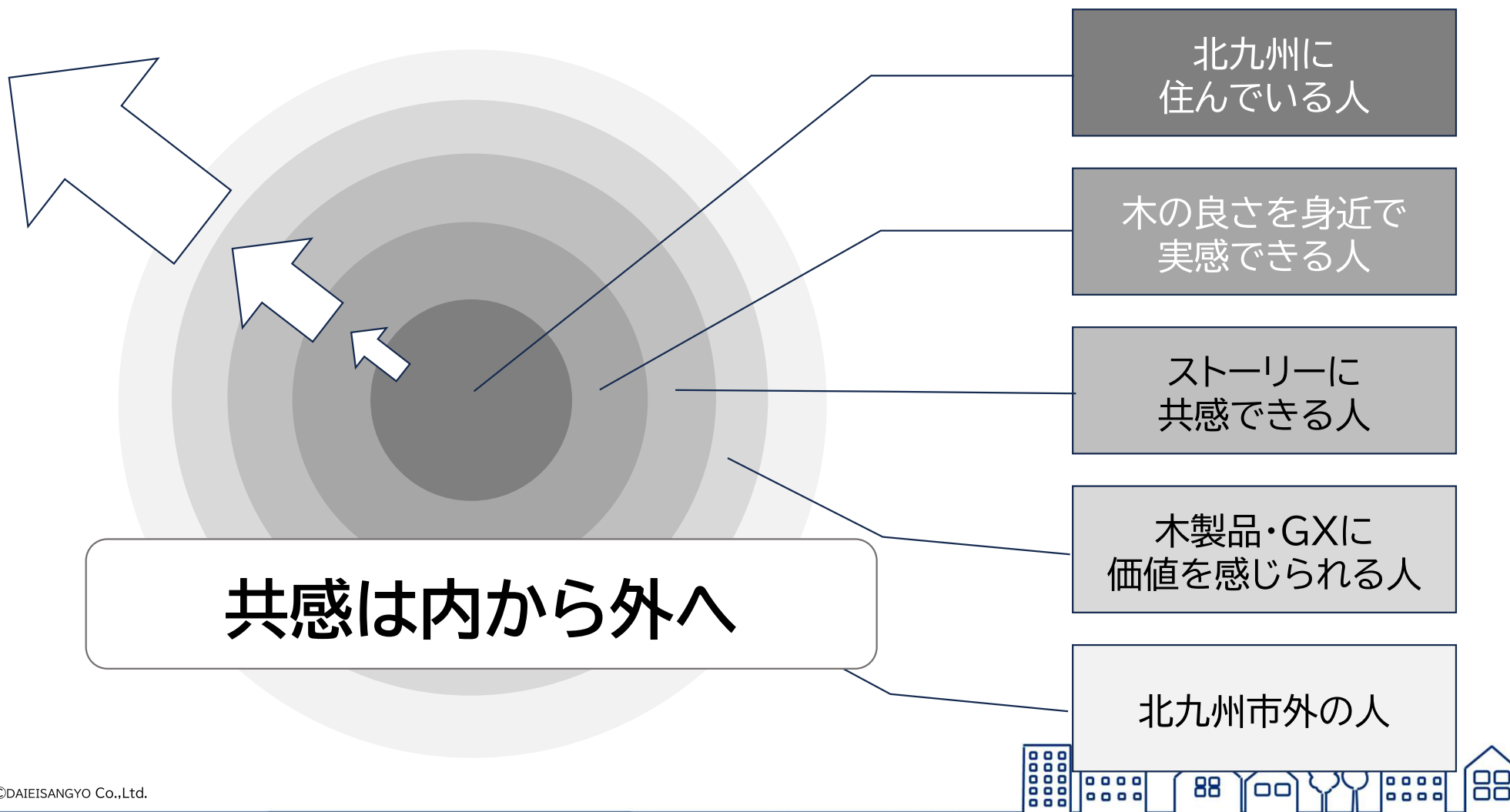
北九州市が目指す「環境未来都市」を
これまでの事業実績と
ビジネス面から実現を牽引



■ マテリアル “木” の共感ストーリー ①ステップ



■ マテリアル “木” の共感ストーリー ②インナーからアウターへ



■ 競合から協業へ

TEAM



2024.12.11
北九州GX推進コンソーシアム
未来共創部会「木造建築」講演会

ご清聴ありがとうございました

